

# 健康だより

健康医療課  
☎53-2101  
各地域の保健センター  
萩原 ☎52-1230  
小坂 ☎62-3443  
下呂 ☎25-2680  
金山 ☎32-4500

## がん検診等申込調査のお知らせ

平成29年度に下呂市が実施するがん検診などの受診希望調査を2月から3月にかけて実施いたします。これは加入している保険に関係なく、下呂市住民の方で対象の年齢・性別に該当すればどなたでも受診できます。

希望調査	対象 (H29.4.1現在の年齢が下記に該当する下呂市住民の方) ※肝炎検査のみH30.3.31現在の年齢
肺がん(結核)検診	40歳以上の方
胃がん検診	
大腸がん検診	
前立腺がん検診	50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の男性の方
子宮頸がん検診	20歳以上の女性の方
乳がん検診	30～40歳の方 41歳以上で平成28年度未受診の方
肝炎ウイルス検診	40歳以上で過去に受診したことがない方
歯周疾患検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の方

### ◆受診までの流れ

① 郵送されてきた「がん検診等申込調査票」に記入をします。受診を希望される検診に●を記入してください。(記入例を参照)

### 記入例

<b>【検診を希望しない方】</b> 市の検診を受ける <input type="checkbox"/> 何も記入しない	<b>【検診を希望する方】</b> 市の検診を受ける <input checked="" type="checkbox"/> 鉛筆で●を記入
<b>【国民健康保険にご加入の方】</b> ***** ***** 5月に受診券をご案内いたします。 受診しましょう。 <input checked="" type="checkbox"/> 記入不要	<b>【対象外の方】</b> ***** ***** <input type="checkbox"/> 受けることができません

② 同封の返信用封筒に入れ、**3月10日**までに郵便ポストへ投函してください。

③ 希望された検診の検診票が5月に郵送されます。なお、子宮頸がん及び乳がん検診案内は別で郵送します。

④ 郵送された検診票を持参し、特定健診会場や個別医療機関にて受診してください。なお、受診は**6月1日**から可能(子宮頸がん及び乳がんを除く)です。受診可能な医療機関については、検診票に同封の案内に記載されています。

### 注意事項

- ・ 記入方法は同封の案内をよく読んで記入ください。
- ・ 調査票は市の検診を希望する方のみご回答ください。
- ・ 世帯全員が受診を希望されない場合は返送の必要はありません。

### 国民健康保険にご加入の方へ

国民健康保険にご加入の方は、職場等でがん検診を受ける機会のない方が多いため、平成25年度よりがん検診の受診案内を保険加入者全員に送付させていただいています。特定健診(40～74歳の方が対象)の受診券と一緒にご案内します。

平成27年にがんで亡くなった日本人は約37万人で、国民の3人に1人の死因となっております。がんは国民病の1つになりました。現在では生活習慣、生活環境の見直しにより予防できることがわかってきました。がんは怖い病気ですが、適切な予防と検診で身を守ることが可能な病気です。年に1度は検診を受け、ご自分の身体を守りましょう。

## 下呂市立休日診療所

下呂市森801-10(下呂市民会館内)

☎24-1200

※事前に電話をしてお越しください。(予約はできません)

診療科目 内科、小児科  
(急病者に限りです)

診療日 日曜、祝日、年末年始

診療時間 午前9時～午後3時

※受診の際は、必ず保険証やお薬手帳(ある場合)をお持ちください。

※急病者専用のため、平常継続して受けている治療は遠慮ください。

### 3・4月の担当医

4月		3月	
30日(日)	大林秀成(萩原北病院)	5日(日)	阿部親司(阿部医院)
29日(全休)	近藤史郎(近藤医院)	12日(日)	中田宗彦(中田医院)
23日(日)	大塚正議(大塚耳鼻喉科医院)	19日(日)	細江昭比古(市立中原診療所)
16日(日)	黒木尚之(黒木医院)	20日(全休)	村瀬寛紀(村瀬眼科クリニック)
9日(日)	奥村昇司(あくらクリニック)	26日(日)	小池利幸(小池医院)
2日(日)	藤岡均(藤岡医院)		

※郵配用は郵政官定封筒(110×160mm)を使用してください。



※休日診療所の担当医は、地上デジタル放送ぎふチャン(8ch)のデータ放送でもご覧いただけます。

## 金山病院退院患者分析

科別	人数	割合
外科系	379人	47%
内科系	287人	35%
小児科	142人	18%

地域	割合
下呂市	73%
白川町	17%
東白川村	3%
郡上市	2%
七宗町	1%
その他	4%

年齢	割合
20歳未満	18%
21-64歳	26%
65-74歳	13%
75歳以上	43%

部位	割合
消化器	32%
呼吸器	17%
皮膚軟部組織	15%
外傷	11%
脳神経	6%
循環器	4%
その他	15%

金山病院で入院治療を受け退院した患者は平成27年度では一年間に延べ809人(回)でした。外科系47%、内科系35%、小児科18%です。(表1)

地域別では下呂市73%、白川町17%、東白川村3%などとなっております。当院が下呂市民の病院として大きく機能していることがわかります。(表2)

年齢別では65歳以上が56%、75歳以上では43%、21歳から64歳26%、20歳未満

18%です。(表3)

入院の原因から見ると、患者は高齢になるといくつもの病気をもって入院しますが主病名による部位別分類では、胃がん・大腸がんや胃腸炎、腸閉そくなどの消化器32%、肺炎や気管支炎、上気道炎、喘息、肺がんなどの呼吸器17%、乳がんや皮膚の炎症など皮膚軟部組織15%、骨折や打撲など外傷11%、脳梗塞、その後遺症など脳神経

6%、心不全など循環器4%などとなっています。(表4)

金山病院ではがんの治療にも力を入れています。胃がん、大腸がん、乳がん、肺がんなどの悪性腫瘍で、手術、抗がん剤治療、治療中の様々な体調不良などで治療を受け退院した延べ人数は187人(回)、悪性腫瘍による死亡は14人です。

日常生活の質を大きく低下させる骨折は63人あり、その中で太腿の付け根の骨

折(大腿骨頸部骨折)は17人、背骨の圧迫骨折は16人ありました。この二つの骨折は、骨粗しょう症や、筋力、平衡感覚の低下したロコモティブ症候群などで起こりやすく、高齢者で女性に多い骨折で33人中28人は女性でした。

小児科は142人で胃腸炎、上気道炎、気管支炎、肺炎、ヘルパンギーナ、マイコプラズマなどによる入院が多く、ほとんど短期間の入院となっています。当院小児科は地域の小児プライマリケアの拠点として大きな役割を果たしています。下呂市立金山病院は地域の病院として皆様の生活を医療の面で支えるよう努力しています。病院の維持は皆様から頂く受診料に支えられています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

下呂市立金山病院 顧問 古田智彦

### 下呂市「こころの健康研修会」を開催します

下呂市では、自殺予防対策の一環として「こころの健康研修会」を開催します。講師に女優・プロレスラーの安川悪斗さんをお招きし、講師自身の実体験に基づき非常に貴重な講演をしていただきます。誰しもがこころの不調・病気になるってしまうかもしれない、そんな現代社会です。この機会にこころの健康の大切さを考えてみませんか？

#### 日時・場所

3月25日(土) 午後1時より  
星雲会館2階 天慶の間

#### 内容

研修「こころの健康について」  
映画上映「がむしゃら」&トーク  
ショー(安川悪斗さん、高原秀和監督)  
入場は無料です。参加を希望される方は事前に左記までお申し込みください。

申込・問合せ先 下呂市健康医療課  
☎53・2101

### 3月9日は脈の日です 心房細動週間

日本脳卒中協会と日本不整脈学会は、不整脈の一種である心房細動から生じる脳梗塞を予防するために「脈の日(3月9日)」から1週間を「心房細動週間」とすることを提唱し、平成26年度から期間中に心房細動に関する市民啓発活動を実施しています。

日本人の死亡原因第4位である脳

卒中のうち約6割が脳梗塞で、心臓にできた血栓が脳や頸の動脈に詰まることによっておこる脳梗塞を心房性脳塞栓症といい、その3/4が心房細動が原因と言われています。

心房細動があっても半数の方は自覚症状がなく、健康診断の心電図で発見されるケースもあります。自覚症状がある方はもちろん、健康診断で心房細動を指摘された方は放置せず早めに受診し、心房細動によっておこる脳梗塞を予防しましょう。

「女性の健康週間」  
「こども予防接種週間」

期間：3月1日～8日  
期間：3月1日～7日

女性が生涯を通して健康で明るく、充実した日々を自立して過ごせるよう、みんなが支え合おう。  
子どもを病気から守るために、予防接種を適切に受けて感染予防に努めましょう。